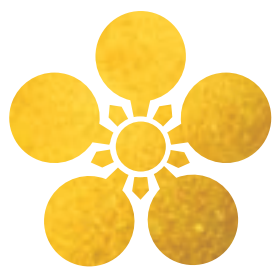


資料館 × 埋蔵文化財調査センター 特別展



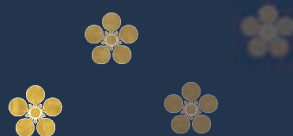
加賀藩 与力

武士のほまれ

平成27年10月1日(木)～11月11日(水) (※10月12日(月)、17日(土)は休館)

金沢大学資料館展示室 (角間北キャンパス金沢大学附属図書館中央図書館内)

開館時間: 午前10時～午後5時(入館は午後4時45分まで)



主な展示品

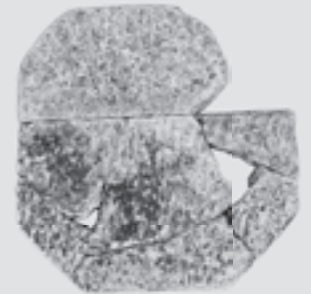
中国陶磁器（17から18世紀） 有田焼染付芙蓉手皿（17世紀後半） 鍋島焼染付幾何文皿（18世紀前半）

茶道具（18から19世紀） 春日山窯製品（19世紀初頭） 経王寺旧境内出土越前焼甕棺（18世紀後半）

このほか、宝町キャンパスから出土した大学病院の給食器、鶴間キャンパスから出土した金沢監獄関係資料、角間キャンパスから出土した、縄文時代中期の資料と古代の山間寺院関係資料なども展示します。



越前焼甕棺



石製棺蓋

特別展企画にあたって

金沢大学埋蔵文化財調査センターは、学内に遺跡が発見されたことを契機に、大学構内の埋蔵文化財の調査研究や保護、活用を目指し、1997年6月に設置された学内共同利用施設です。本年で19年目を迎える当センターでは、これまで角間キャンパスの2地点、宝町キャンパスの17地点、鶴間キャンパスの3地点で発掘調査をしました。

明治末年に金沢大学の前身となる医学校や病院が置かれる前、宝町キャンパスは加賀藩の与力が住んでいた町でした。今回の金沢大学の発掘展『加賀藩与力 武士のほまれ』では、発掘調査の成果のうち、江戸時代の宝町遺跡を中心に展示いたします。

長年の発掘調査により、たくさんの皿や茶碗といった生活道具が出土しました。これらの遺物からは、当時の日常生活の様子を知ることができます。また、茶道具や遊具なども発見され、文化的な豊かさもしのべられます。この展示を通して、考古資料から加賀藩士の生活をのぞいていただきたいと思います。

－特別展開連公開講座－

金沢城下町の生活

～発掘調査から金沢の江戸時代を考える～

日時：10月4日（日）10:30～16:00

会場：金沢大学サテライト・プラザ（事前申込要）

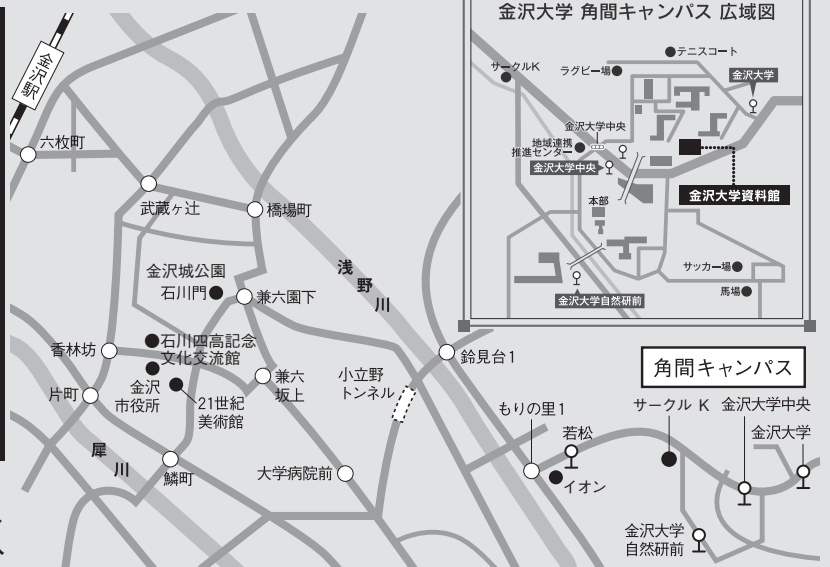
一般 2,250円 高校生以下 900円

問い合わせ先／金沢大学地域連携推進センター

(076) 264-5272・5273

アクセス

北鉄バス「金沢大学行き」に乗り
「金沢大学中央」バス停下車、徒歩5分
JR 金沢駅東口からの所要時間は40分



金沢大学の発掘展

加賀藩与力 武士のほまれ

2015年10月1日(木)～11月11日(水)（※10月12日(月)、17日(土)は休館）

10:00～17:00（入館は16時45分まで）

会場：金沢大学資料館展示室（附属中央図書館内） 入場無料

問い合わせ先：金沢大学資料館 TEL：076-264-5215（平日のみ10:00～17:00）

メール：museum@adm.kanazawa-u.ac.jp

★本資料館では同時期に、写真展「よみがえる城内キャンパス」（10月27日～11月5日、会場：金沢城公園鶴の丸休憩所）も開催しています

